

ビジネス情報の海外向け PR ツール作成業務に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

令和 6 年 5 月 30 日（木曜日）

1. 日時及び場所

○ 書類審査及びプレゼンテーション審査

令和 6 年 5 月 30 日（木曜日） 13 時 15 分から 15 時 00 分

大阪府咲洲庁舎 25 階 成長産業振興室会議室

2. 審査方法

あらかじめ定めた審査基準（公募要領に記載）に基づき、3 名の選定委員が書類審査及びプレゼンテーション審査により 100 点満点で総合評価を行った。最終的に各選定委員の評価を集計し、評価点数の平均が 60 点を超え、提案者のうち最高得点の者を最優秀提案者として選定。

3. 審査対象者（提案者）

（1）株式会社トライアウト

（2）株式会社時事通信社

4. 議事要旨

- ・選定委員会の公開・非公開について審議（非公開に決定）
- ・審査方法及び審査基準の確認（総合評価点の平均が 60 点に満たない場合は選定しない旨を確認）
- ・企画提案部分について、提案者が 15 分間のプレゼンテーションを実施
- ・その後、選定委員から 10 分間の質疑応答を実施
- ・審査の結果、「株式会社時事通信社」を最優秀提案事業者に決定

【主な委員意見】

- 最優秀提案事業者は、見る側の視点に立った情報提供とデザインを提案しており、企業訪問の実現につながることを期待できる。
- また最優秀提案事業者は、自社で翻訳部門を有しており、円滑かつ正確に業務を進めることができるかと推測される。独自の取材力で、充実した内容となることも期待できる。
- 一方で、単なる企業情報の掲載とならないよう、巻頭インタビュー以外にも工夫を凝らし、他の情報誌との差別化を図ってほしい。万博を契機とした、海外からのビジネス関係者の大阪・関西への呼び込みを効果的に促進する PR ツールが作成されることを期待している。

5. 選定委員会委員の氏名及び選定理由（五十音順）

| 所属・職名等 | 氏名 | 選任理由 |
|---------------------------|-------|--|
| 大阪弁護士会（松田・澤田法律事務所） 弁護士 | 澤田 裕和 | 法律の専門家としての知見を活用し、提案内容が法的に問題なく、円滑に実施できるものであるかという観点から審査いただくため。 |
| 独立行政法人日本貿易振興機構大阪本部次長 | 杉山 玲子 | 海外ビジネスに精通しており、提案内容が海外企業等に対して訴求力があるものか、大阪への呼び込みに十分期待できるものか審査いただくため。 |
| 大阪商工会議所 国際部長 | 根来 宜克 | 産業に関する知見や国際ビジネス交流のプロモーションの実務経験が豊富であり、提案内容の効果や妥当性を審査いただくため。 |